

はくびつかい

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL 7 NO 4 1982. 7. 1
平塚市博物館 TNO 75

□ 夏期特別展 □

「掘り起された平塚」

期間 昭和57年7月20日(火)
～8月29日(日)

場所 平塚市博物館・特別展示室

内容 (特別展示) 繩文時代の遺跡 弥生時代の遺跡 古墳時代の遺跡 歴史時代の遺跡(奈良・平安・鎌倉・室町時代)他

(記念講演会) 8月1日(日) 「古代の四之宮について」 講師・市社会教育課文化財担当主査・小島弘義
8月8日(日) 「平塚市の埋蔵文化財について」 講師・市文化財保護委員・日野一郎氏

(体験学習会) 土器を作ろう
8月11、12、13日

新しい博物館協議会委員さん決まる!!

新しい平塚市博物館協議会委員さんが決まりました。任期は、昭和57年5月1日から昭和59年4月30日までです。

これから2年間、博物館の運営に関し、貴重な御意見をいただかたがたです。

新委員さんは、次のとおりです。

(会長) 山本椿一 日大教授

(副) 井出栄二 元静岡大助教授

藤田経世 神奈川県立博物館

協議会委員

見上敬三 横浜国大教授

藤村富士太郎 元会社役員

水島敏夫 市立中原中学校長

どうぞよろしくお願ひいたします。



7月の行事

1	木	プラネタリウム
2	金	
3	土	プラネタリウム 古文書講読会
4	日	プラネタリウム
5	月	(休館日)
6	火	
7	水	プラネタリウム
8	木	プラネタリウム デッサン教室
9	金	デッサン教室
10	土	プラネタリウム 土曜観察会「高麗山の樹木調べ」
11	日	プラネタリウム 自然観察会
12	月	(休館日)
13	火	
14	水	プラネタリウム 「石仏を調べよう」
15	木	プラネタリウム
16	金	
17	土	プラネタリウム 古文書講読会
18	日	プラネタリウム
19	月	(休館日)
20	火	
21	水	プラネタリウム
22	木	プラネタリウム 自然観察会「チョウの観察」
23	金	自然観察会「チョウの観察」
24	土	プラネタリウム 土曜観察会「季節ごよみ」 「石仏を調べよう」
25	日	プラネタリウム 体験学習会「麦から細工」
26	月	(休館日)
27	火	夏休み自由研究相談会
28	水	プラネタリウム
29	木	プラネタリウム 星を見る会「月面を見よう」
30	金	自然観察会「貝化石を調べよう」
31	土	プラネタリウム 自然観察会「貝化石を調べよう」

夏休みの行事

あなたも参加してみませんか

● 夏休み中のプラネタリウムの投影

一般投影日：水、木曜日の午後 2 時

土曜日の午後 1 時 40 分と 3 時

日曜日の午前 10 時 30 分と

午後 1 時 30 分

団体投影日：水、木、土曜日の午前 11 時

団体で観覧を希望される方は、7日前までに、博物館へ直接または電話で申し込んで下さい。

一般投影の場合は、当日、投影の 1 時間半前から、博物館の受付で観覧券を発売します。

● 自然観察入門講座「チョウの観察」

期日 7月 22 日(木)～23 日(金)

2 日間

場所 高麗山付近

対象 小学校 4 年生以上

申し込み 往復ハガキで、7月 18 日までに博物館まで。申し込み多数の場合は、抽選で 30 名まで。

● 夏休み自由研究相談会

自由研究の進め方やまとめ方についての相談、資料についてのアドバイスなどを行います。考古・歴史・民俗・生物・地質・天文・美術の分野の相談に応じます。

期日：7月 27 日(火)、8月 27 日(金)

時間：午前 10 時～午後 3 時

場所：博物館・科学教室

● 星を見る会「月面を見よう」

望遠鏡で月令 9 の月を観察します。

日時：7月 29 日(木) 午後 6 時～8 時

場所：博物館・科学教室

参加は自由ですので、当日科学教室へお集まり下さい。

● 自然観察入門講座「貝化石を調べよう」

期日 7月 30 日、31 日、8月 3 日(3 日間)

時間 午前 9 時～午後 4 時

場所 大磯海岸、大船付近

対象 小学校 4 年生以上

申し込み 往復ハガキで、7月 20 日までに博物館まで。申し込み多数の場合は、抽選で 30 名まで。



堀起された平塚

7月20日から8月29日まで、夏期特別展「堀起された平塚」展が開催されますので、今回はその時の主な展示品を御紹介いたします。



◆有孔つば付土器(上ノ入B遺跡出土)

岡崎小学校々庭内の、上ノ入B遺跡の竪穴式住居址から出土したもので、縄文時代中期の土器。高さ約43.5cm、口径約27cmの樽状をし、表面に赤彩が施され、粘土紐で人体か動物(カエル)の文様が描かれている。用途は樂器説(タイコ)や醸造器説が考えられているが、はっきりしていない。県内でも数少ない優品のひとつである。



弥生式土器壺(王子台遺跡出土)▶

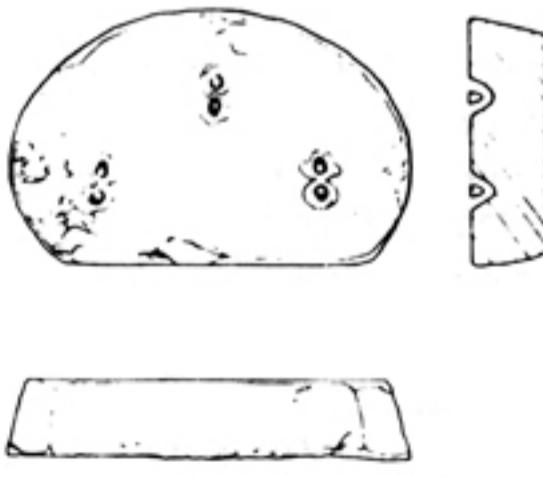
北金目にある東海大学敷地内の王子台遺跡の住居址から出土した、弥生時代中期中葉の壺。平塚市最古の弥生時代の土器でもある。

土器は肩のない長頸をし、口が細いのが特徴で、文様はヘラで、顔面が描かれている。従来この種の土器は棺として用いられている例が多いだけに、住居址(集落)からの出土は注目される所である。



◆三角縁神獸鏡(真土大塚山古墳出土)

真土の砂丘上にあった真土大塚山古墳から出土した鏡。上に二神、下に二神と上下に四神、左に竜、右に虎が描かれている四神二獸鏡と言われる鏡で、同じ鏡が京都の椿井大塚山古墳と岡山の湯迫車塚から出土している。この鏡を巡って大和朝廷との関係が説かれている。古墳は、平塚市では最古かつ南関東を代表するものである。



石製の鉢(四之宮下ノ郷遺跡群出土)▶

四之宮にある大野小学校周辺を四之宮下ノ郷遺跡群とい。その中のひとつの遺跡から古代官位を示す鉢(か)帯が多数出土している。右図はヒスイでできた石製の鉢で、身分規定によれば玉石帯・メノウ帯は五位以上とされていることから、国司クラスの人物が身につけたものと推定される。この石鉢を出土した周辺は国府関連遺跡として注目されている。



7月6日の皆既月食

7月6日の満月は、月食になります。とは言っても、平塚ではほとんど終りに近づいた満月が東から出てくる程度です。

ところで、満月が東の地平線に姿を現わした時は、大きな上に異様に赤く、不気味な気がしませんか？これは夕日とまったく同じ現象です。月の光が地平線近くでは空気の層を通る径路が長く、月の光のうち青い光が散乱されてしまうため、赤い光が目に多く入り、あのような赤い月が見られるのです。

月が大きく見える理由は、心理的なもののように、月の直径を、出たばかりの月と、天高く昇った月と計っても同じです。まわりの建物や地上の景色と比較するために、大きく見えるのでしょうか。

月食が終りに近づいた、と言いましたが、昇ってくる月を良く見ると、上側がやうすく暗く感じられ、月が昇るにつれて、うす暗い部分は上に寄り、午後7時半には月食は終わってしまうのがわかります。

ちなみに、次の満月は8月5日で、次の皆既月食は12月30日です。次の月食は始めから終りまですべて見ることができます。

～～～

おことわり 「教育普及活動の紹介」は、今回お休みさせていただきます。

みんなのサロン

「なんでも書いてみよう」ノートより皆さんのご意見

私は東京府立高島市にある武藏大学4年生です。
現在、高島市に住んでいますが、この博物館には初めてきました。
大学で、社会人類学を専門としているので、大変おもしろかった、という
感じです。展示にも大変工夫がされており、博物館への苦心が
感じられました。

ただ、精神文化というか、某などの中行事の面白さなどについて、
もう少し詳しく聞かせてみたいと思います。よかったです。
と感じます。また、自身、人類学という比較を中心とした文化の
研究をしているものみると、お家等に入居するなどして朝鮮半島
から渡来人による文化的接触という概念といふことを関心が
あります。つまり、地域における博物館としての機能としては何が
いいと思うのですが、アジアの中で日本化していく地域といつては向い
らされた位置づけが必要なのではないかと思ひます（もちろん、そのような形をかぶる
べきがないといつてはいるのですが）。

博物館からのお答え

博物館と民族を担当している者から！

精神文化については、よくしゃべりますが、よく
民族にはそういう歴史的背景を考えたいと思います。
あなたがいつも文化に接觸、融合の歴史は大きいに越え
思ひますか。たとえば、「太宰治……」のことは実話ですか？
文化の習い事と金魚の中から見たところも、
地理的な歴史といふのは日本の歴史が複数の歴史内
です。

受入寄贈資料（敬称略）

- 4.2.1 ソバアゲ、センバ、馬歎など、平塚市土屋、原元助
- 4.2.8 カメラ 市内豊原町 31-20 菅沼久雄
- 5.8 ホンシュウジネズミ 市内八重咲町 19-31 加藤望東子
- 5.9 雑人形、長持 市内八重咲町 8-18 植野 薫
- 5.15 アイガメ、タモなど 市内札場町 23-4 田中太一郎

御協力を深く感謝いたします。